



水車で川柳大会

コーヒースタンド「水辺の休憩所」の香川大学生が開いた「高原水車川柳大会」楽しかったよ～（11月）

若き友  
古き小屋より 跳びたちぬ

## 水車小屋 語り集ひて あたたかし

## 見学は あたま 頭数より とし 歳の数

2023年は、酷暑の夏、海外では残酷な戦争が続き、今、能登半島では元日に大地震が起き、必死で命を守り復興をめざしています。その中で、10年目を迎えた高原水車友の会は、毎月の公開日に見学者を迎えた無事に一年を過ごすことが出来ました。多くのみなさまの心のこもったご協力に深く感謝申し上げます。

高原水車友の会通信（第20号）

高原水車友の会  
高松市六条町 672  
高原水車場



## 麦蒔きを終えた田んぼと水車の長屋

**水車遠望** 北方から水車の長屋を見る。南奥に由良山。



旧水車のクモ手取り外し・心棒外し・底樋調査 2017.12.10-11

## 水車取り外し

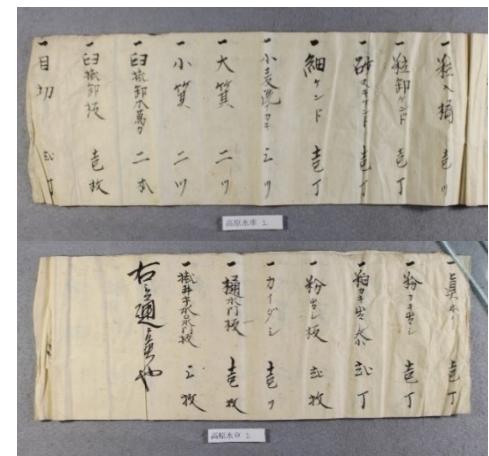
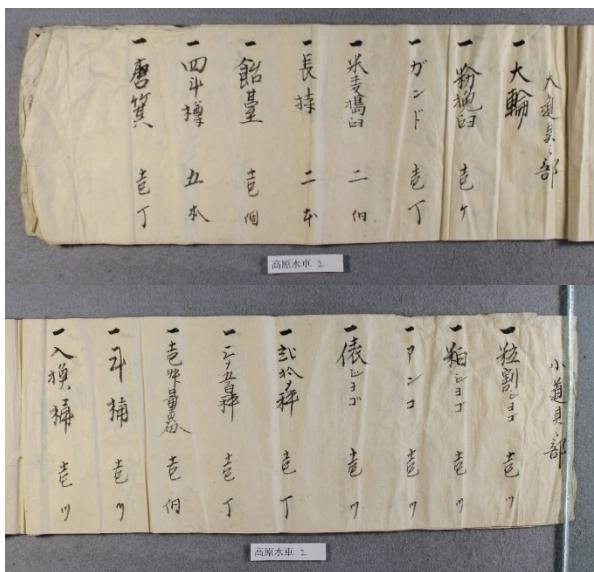
■ 水車で川柳大会・水車ハネルより	1
■ ひとくちメモ（収藏資料より）	2
■ 高原水車第十回総会報告	3
■ 猛暑の夏を過ごす 来訪された人々	6
■ 保存修理作業と調査が続く	7
■ 水車の秋（蕎麦の収穫）	8
■ 水車公開日 10月・11月	9、10
■ 気象観測調査	11
■ 変化する周辺環境・活動日誌	12

ひとくわすメモ

—高原水車収蔵資料2より



道具付(表紙)



- 資料の年代が記されていないが、高原太吉が水車経営を始めた明治30年代のものと思われる。
- 大道具之部**
- ・大輪
  - ・粉挽臼 一ヶ
  - ・ガンド 壱丁
  - ・米麦搗臼二個
  - ・長持 二本
  - ・飴台 壱個
  - ・四斗樽五本
  - ・唐箕 壱丁

- ・入換桶
- ・粒入桶
- ・粒卸ケンド
- ・砂又キケンド壹丁
- ・細ケンド
- ・小麦洗イカキ三ツ
- ・粉出シ板
- ・カイダシ
- ・桶水門板
- ・掛井手水口水門板三枚

(左..現存する道具の一部)  
右之通ニ候也

**小道具之部**

- ・粒割ジョゴ 壱ツ
- ・アンコ 壱ツ
- ・俵ジョゴ 壱ツ
- ・貳拾貫秤 壱枚
- ・大箕 二ツ
- ・小箕 二ツ

- ・臼掛卸板 壱枚
- ・目切 武丁
- ・真ホリ 壱丁
- ・粉力キ出シ 大小武丁
- ・粉出シ板 武枚
- ・カイダシ 壱ツ
- ・桶水門板 壱枚
- ・掛井手水口水門板三枚

**活動報告 5月25日**  
ガンドの絹布を貼りました



野瀬大工の指導の下、着物の伸子張りの要領でガンドの木枠に絹布を貼り付け、  
しっかりと留め、糊が乾燥したところで、10角形のガンドにはめ込みました。

2023年度(令和4年)収支決算報告	
収入	543,410円 (会費・寄付金・もち麦等販売)
支出	345,740円 (通信・会報発行費・保険・水利費・会議費・水車環境整備費等)
繰越	197,670円 (詳細は総会報告書参照)
2023年度(令和4年)予算額	407,670円 (通信・会議費・活動費)



## 高原水車友の会 第10回総会(報告)

日時 2023年5月27日(土) 午後1時～4時

会場 農協林支店二階広間会議室

議題 活動報告 友の会会員から

会計報告 監査報告

2023年度活動計画

講演&報告

・「水辺の休憩所」の取り組みについて

(報告:香川大学創造工学部学生プロジェクト)

・「水車と縁上げ装置装置の動きを見る・行灯篭の復元」

野瀬秀拓氏(水車大工棟梁・福岡県久留米市)

・「人十木=休」:樹木の効用と高原水車周辺の樹木について  
大石道義氏(西日本短期大学名誉教授)

・「デジタルアーカイブ構想とその現状—高原水車の情報を  
残し活用するには」國枝孝之(香川大学創造工学部准教授)

・他の地方の水車情報(馬場線香水車のお線香販売)

♪♪♪—閉会後水車場にて見学会—♪♪♪



①

「水辺の休憩所」の取り組みについて

(報告:香川大学創造工学部学生プロジェクト)

「見て 感じて 伝えて」をキーワードに

2021年から水車内にコーヒースタンド

を作り「水車友の会」の人

たちと交流を図っている。

友人や後輩も参加している。

学生ならではの提案をした

い。水車が地域の人との交

流の場となり、水車小屋や

友の会の方々の魅力を伝え

つつ地域の方の自慢の場所

になるよう活動していきま

す。グッズ作りやフォトコ

ンテストもやりたい。

卒業、就職、進学 おめでとう



④

② 「水車と繰上げ装置装置の動きを見る・行灯  
篩の復元」  
野瀬秀拓氏(水車大工棟梁・福岡県久留米市)  
水車の構造と水車大工の技術(昔からの規矩法  
を生かして作る)／水車大工から見た地域に残  
る技術と構造(香川県立ミュージアムに残る片  
板などを見る)／師匠のお二人(現代の名工 中  
村忠幸氏・妹川矩雄氏)紹介 水車大工が一人  
前になるのに 20 年かかる／朝倉三連水車を  
造っている妹川氏と野瀬さんの若い頃／90  
年の歴史を持つ八女の線香水車 馬場水車  
90 馬力で力強く回っている。乾燥させた杉の  
葉を杵で搗いて粉にする工程／線香原料水車  
の搗き臼と動力の仕組み 杵一本が 60 kg  
13 本ある。／地元の大工さんが作った熊本の  
水車／高原水車 解体した時に寸法を確認、き  
つちり作っていた 一分の狂いも無い／高松  
上空をドローンで撮影 よくこのような平野  
に水車が出来た／中掛け水車の図面をデータ  
で残した／ドローリングドラフターで水の入  
る角度を計算し、片板を作り、残している。残  
っている水車の板の角度とぴったり一致した  
／水車の心棒などの設置を友の会のメンバー  
がかわる。メンテナンスの知恵と技術を修得  
水車とともに友の会が素晴らしい／摩耗して  
いた歯車の修理と石臼の目立て／石臼の清掃  
はコンプレッサーで／篩網や搬送機の動きが

正常に行かか実験をした／篩網を貼り行灯に  
取り付けた／屋久島の水車／須佐美の水車・佐  
賀の水車紹介  
樹木について  
大石道義氏(西日本短期大学名誉教授)  
テーマ：樹木の効用効果／樹木による風景づく  
り／修景への市民啓発例(とがつた針葉樹と丸  
っこい広葉樹の使い分けをして、よりドラマチ  
ックで魅力的な空間風景を創造：)／牧野先生  
からのヒント・原初的価値と後成的価値(社会  
公益的価値)これらその後成的価値を適切におお  
いに発現することが高原 MII の運営につなが  
ると思う／高原 MII のテーマ例「日本の原風  
景・伝統文化・温故創新」の里／地域や人々、  
社会に貢献することで保存活用の確保を(水  
車・水車場の保存活用を人々や地域社会の二一  
才の解決価値づくりと結び付け、つとめて多く  
の人々と一緒に連携して果たして行きましょ  
う)「ふるさとらしさの維持」「教育財文化財」  
「多世代交流」「心身の健康」「福祉」「学術」  
／高原 MII ゾーン樹木分布概要(水車場の周  
りと旧古川岸辺の全樹木 60 種以上を調査し  
リスト作成 名札も用意)

④ 「デジタルアーカイブ構想とその現状—高原  
水車の情報を残し活用するには」國枝孝之氏  
(香川大学創造工学部准教授)卒業生の卒論から  
テーマ：文化遺産の保存維持活動が叫ばれる中  
維持管理は難しい。その中の好事例を一つ(文  
化遺産が現役の場合)犬吠埼灯台)(文化を守  
る地域コミュニティー基盤がしつかりしてい  
る場合)イタリア・シェナコントラーダ)  
文化財を形あるものとして残すことはベスト  
だが、難しい(高松市内の記録が空襲などで消  
滅している) ↓ 文化財を情報資産として残す  
(メディアへ記録し記録された情報を利活用  
することで継承する)  
アナログからデジタルへの時代→しかしデジ  
タル化しておけば安全か?→どのようにデジ  
タル情報資産を管理していくかが課題  
である。デジタルアーカイブの例 ↓ ヒロシマア  
ーカイブ・首里城再建(文化財焼失からデジタ  
ル再現例)  
香川で「時空間デジタルアーカイブ」を試行し  
ている(「いつ・どこで」のメタデータ付与)  
ー(例)中野武宮の情報を活用 プロトタイプ  
システムの紹介(1)(2) 文化継承モデル・  
サービス構想案(アーカイブを用い地域に根付  
いた文化情報を発信できる仕組みを産官学連  
携で検討中) 「高原水車」を香川・時空間デ  
ジタルアーカイブに登録することも(今は、こ  
れまでの記録を生で取つておくことが重要)  
郷土情報のデジタル化とアーカイブ化をめざ  
して奮闘中。

**活動報告 2022 年度****—水車復元と水車場活用の活動（まとめ）—**

- ・水力で歯車と石臼・搬送装置①・ガンドが回転し始めた。少量の製粉もでき（但し手篩）、ダイナミックな動きを見ることができた。見学者の方にも見てもらっている。
- ・搬送装置のしくみを調査し、ガンドまでのロープと駒、ガンドの木枠を野瀬大工が製作し設置した。（今は模型という位置づけ）さらにガンドから上の搬送装置と長漏斗などの調査が必要である。
- ・搬送措置②③（ガンドから長漏斗の上部まで）とガンドの回転数を予測するため、各所の歯車と綱車の大きさを計測（池森先生と友の会メンバー）→水輪の回転速度のほぼ 3.6 倍の速さで主軸・ガンドが回転
- ・撤去された旧水車の水輪の一部（全体の 1/4）と心棒を、西の長屋に展示することができた。
- 水輪の一部と底樋を組み合わせて水車の導水部分を立体的に  
見せることができた。（この作業は文化庁許可済み）(2022.5)
- ・ガンドの木枠に絹を張る作業に友の会として参加。
- ・水車場に隣接する部屋の床と壁の修理は一昨年終わり、関連道具などの展示スペースにする計画だが、展示作業はまだ進んでいない。
- ・破損の激しい水輪の部品（クモ手・大がらみ・根がらみなど）は、箱に入れ、水車場の天井裏に収納した。
- ・ワークショップ—水車で「ひな祭り茶会」を楽しんだ。
- TKB 44 バンドが水車の庭で、本格的演奏を披露。
- 紙芝居・影絵・木工細工・写生会などは未定

**—対外的な活動—**

- ・一昨年、高松桜井高校生徒（写真部・新聞部）が見学交流。今後のつながりに期待
- ・コロナ下であったが、公開日には見学者を迎える、新しく地元の大学生や大学教授、高校生とのつながりもでき始めている。香川高専学生との交流が実現し、テーマ「高原水車の将来像をデザインする」を発表
- ・道路敷設に関連して、県土木事務所担当者と話し合いを行った。水車排水路（石積み暗渠）の保護など。

**—広報・調査研究活動—**

- ・「水車通信」を 5 月に発行（18 号） 19 号発行は 2023 年 5 月に延期された。
- ・ホームページを作成した。URL: <https://suisha596088331.wordpress.com/contact/>  
[讃岐六条の高原水車 - 讃岐平野に残る江戸時代の水車 \(takaharasuisha.com\)](https://takaharasuisha.com)
- ・模型・映像作りも含めて水車場全体の展示計画は未定。水車場内にモニターは設置した。池森・緒方・小坂各先生・野瀬さんらと打合せ必要。皆さんに技術的な協力をお願いしたい。
- ・林地区コミュニティー協議会広報紙 History のページに高原水車が紹介される。「旧高松空港跡地の碑」も。
- ・ベネッセ主催瀬戸内海地域振興助成情報共有会に参加（堀家）(2022.8.20)
- ・香川大学教育学部で水車報告会に参加（川崎）(2023.2.16)
- ・香川県文化財保護協会会報の支部だよりに「高原水車」を紹介（川崎）(2023.3.29)

**—景観保存—**

- ・水車場周辺の景観を守り、地域の文化活動に貢献できるエリアを作るため、保存計画を練る。低地にある水車と墓地の保全を考える。
- 水路浚渫、草刈り、樹木伐採、もち麦・蕎麦栽培によって水車場周辺の景観が維持されている。→これらの作業に新しい人の協力をお願いしたい。
- ・墓地移転と道路について、県土木事務所と話し合う。旧古川と藪の道の保全を要望。しかし友の会 10 年間の維持管理作業を今後どのように引き継いでいくかは課題。

**—組織づくり—**

- ・公開日をきっかけに新しい会員入会があった。新会員 23 名 会員数 227 名
- ・法人化の可能性も追及=法人化は手続き面で足踏み状態

2023

# 猛暑の夏を過ごす 歩みもゆづくと



7月27日（木）神野善治氏（武蔵野美術大学名誉教授 民俗学）・磯野英史氏（四国民具研究会会長）が来訪。瀬戸内海歴史民俗資料館前館長田井静明氏の案内による。

7月23日（日）能楽師レイヤ陽子さんが訪れる。陽子さんのお母さまは「水車友の会」会員。

## 水車を来訪された方々

7月29日（土）水車公開日  
こども食堂「どんぐりキッチン」（幼稚園～小学校高学年 乾北自治会の方が世話役）のメンバー約20名がにぎやかに水車場を見学。小さな石臼で粉引き体験も楽しみました。水車の水路出口辺りを見学、勾配のある特有の地形についても説明。



8月26日（土）  
水車公開日



「三谷親子自然塾」の方と  
蕎麦の種蒔き

一  
コ  
ー  
ス  
①  
②  
③

- ① 7月、九州の大雨で、馬場水車やゴットン館、一ノ瀬親水公園の水車も被害を受けました。  
—お見舞い—
- ② 和歌山すさみ水車（線香水車）の水輪が完成しました。7月15日～17日、市民50人が参加。  
—おめでとう—
- ③ 情報誌「IKUNAS」vol17に高原水車が掲載



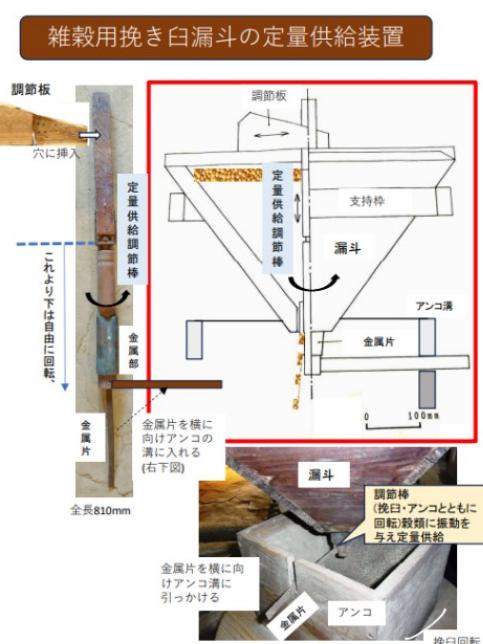
IKUNAS ⇄ SANUKI  
11月末発行  
1冊 112p  
1320円



## 保存修理作業と調査が続く

★水車手前のサブタ（水量調節のための水門）差込装置（受け）の根元を修理 9月29日（金）

根元の部分が腐食していました。水車大工棟梁野瀬秀拓さんに久留米から来てもらい修理が出来ました。



日)は、「雑穀用挽き臼漏斗の定量供給装置」において、友の会メンバーや5人も調査を手伝いました。「定量供給は定量供給調節棒が、挽き臼とともに回転すると穀物に振動を与え、粒の定量的な落下が起ること」と、教授は謎解きする。想像できそうですが簡単な実験も楽しみです。

この報告書は「MILLみる水車ノート」(池森編)で発表の予定ですが、ひと足先に、この水車通信に掲載させていただきました。





菊芋の花

彼岸花。猛暑のせいか、咲くのが遅かった

活動報告

水車の  
秋

2023年

真夏の8月26日に蒔いた蕎麦の  
白い花が咲く。赤い彼岸花も。  
10月1日



蕎麦の実が熟す。10月15日



蕎麦の収穫日。  
10月20日



刈り取った蕎麦をハゼ（稻架）にかけて、1か月ほど乾燥させる。この細長い三角形の畑は新設道路（県道の敷地となるので、この場所での農作業はこれが最後となる。土地が低くて不整形の田んぼだったけど長い間ありがとう。昔は遊水地の役目もしてくれた低い田んぼでした。



学生さんもいっしょに



今年も干し柿づくり

**水車公開日 10月**



しつぽく蕎麦



企画委員会で今後の計画など話す。  
友の会の組織を継続強化していくためには?  
製粉装置をどこまで動かすのか?  
川沿いの道と樹木の整備は?周辺環境整備を。  
県では新道建設用地にかかる田んぼを試掘した。  
香川県文化財課との話し合いを報告。  
文化財リストと道具類の照合をして行こう等々

水車場の内外に  
いつもお花を  
飾ります

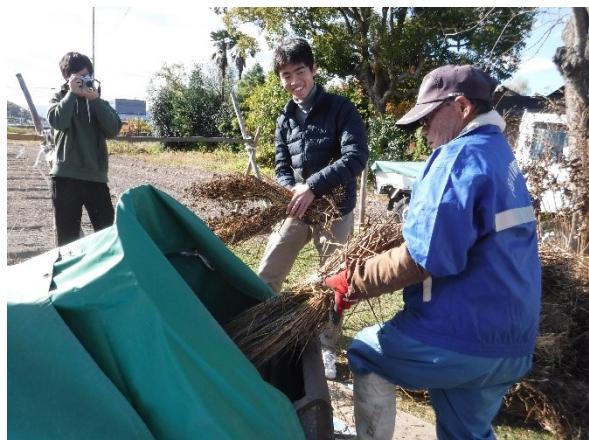
古い脱穀機と選別機を持って来て、  
さあ蕎麦の脱穀を始めよう。

**水車公開日 11月**



川柳大会にぎわう 33句

香大生  
いっしょに参加ありがとうございます



お手本を見せましょう！大学生も楽しそう



### 気象観測調査

教育学部  
寺尾徹教授より



こんな調査をしています

香川大学として2023年6月24日に大学院生たちといっしょに高原水車に気象観測装置を導入させていただきました。かつて高原水車のお家の子どもたちが経験した気候の記録はたとえば夏休みの絵日記に残されています。近年では35℃を大きく超えるような日が続く夏も珍しくなくなりましたが、その当時は30℃を少し超えた程度であります。周囲の環境も変化する中で人の住む空間の気象条件はどうに変化しているのか。周囲の都市化した地域と比較したときに旧来の水環境を残す高原水車の気候は過ごしやすさを保持していると言えるのか。こうした点について考察するうえでも役に立つのではないかと考えております。



「多自然型コンクリート護岸」という。



新設県道(成合六条線)が墓地(名称:車三昧)にぶつかるので、お墓の半数が川の北側へ移転することになった。移転作業は始まっている。それに伴い元の墓地敷地整備が行われ、桜の木やアジサイは撤去、敷地は土かもコンクリート製になりました。

## 変化する周辺環境

水辺の生物にも配慮したものだが、元の古川とは別物のようだ。岸の角度はこれで良いか、水がスムーズに流れるか気に入る。

10月1日



川の草刈り浚渫作業は今後も続く。



旧古川と本流を繋ぐ下流の排水構  
前方に北側の墓地予定地

活動日誌 (2023年夏～秋)		水車公開日は毎月最終土曜日
5/27	第10回総会	12月はお休みです
6/20	県土木事務所が水車前後川底標高調査実施	
6/24	香川大学寺尾先生、水車の田圃に気象測定器を設置	
7/29	こじも食堂「どんぐりキッキン」来訪	
8/26	「三谷親子自然塾」来訪	
11/25	蕎麦の脱穀 辺の休憩所	香川大学創造工学部学生(水車場で「高原水車川柳大会」開催)

樹木の根が川岸を固めてきた長い歴史を物語っているが、お墓への落葉が問題となり、今後の対策が悩ましい課題である。香川大学名譽教授増田拓朗先生にご足労を願い、ていねいな調査のうえ意見をいただいた。森造園さんにも同席いただいた。今後の話し合いには、この日のアドバイスを大切にし、「迷惑をかけないよう」にしたい。(友の会会長 平田恵美)



## 旧古川に残された樹木

## 川柳大会より一句



昔から  
みんなを繋ぎ愛される

水車小屋  
カフエとコラボおいしいよ

楠は  
水車を見守り 年を老い

友の会  
数多のじ教授ありがとうございます

早や十年  
十歳老けた 会員等

カタコトじ  
水車のまわりで縁結び

人々の  
笑顔あふれる水車小屋

師匠いず  
オシャレランチ休業中

作業止め  
飲むコーヒーの苦味冴え

月一の  
待ち遠しいや公開日

讃岐水車は文化財

ことことと  
回り続ける役に立つ

復元で  
みんなに笑顔人の輪だ

子どもらの  
歓声重ね水輪の音ね

安否確認水車小屋

月一の

縞の布  
水車小屋では粉らるい

おじちゃんと  
そばをこねたの楽しいな

まじりしき  
讃岐水車は文化財

四季折々に顔変わる

水車小屋

水流れ  
水車回してそば食す

おじちゃんと  
そばをこねたの楽しいな

縞の布  
水車小屋では粉らるい

作業止め  
飲むコーヒーの苦味冴え

水受けて  
まわれよまわれいつまでも

まぼろしの  
水車回りて鮎跳ねる

コーヒーの  
スピード向上努めます

水車小屋  
四季折々に顔変わる

水流れ  
水車回してそば食す

おじちゃんと  
そばをこねたの楽しいな

縞の布  
水車小屋では粉らるい

空回り  
樹木議論と湯水車

水車と  
コーヒーいれてもう卒業

受けまわる  
時の流れと清流と

古農具  
分類すれば文化財

あたたかい  
じはんと人であたたまる

コーヒーの  
湯気立つ秋の日小休止

縞の布  
水車小屋では粉らるい

空回り  
樹木議論と湯水車